



## 面影とともに

After①

改装前の面影が残るリビング。空間の広さや家具の配置は変わっていないが、仕上げが変わることによって部屋の印象が変わった。もともと陽当りの良い南面の掃出窓からより光が部屋の奥へと入り込むようになり、明るいリビングスペースに。

### ◎テーマと概要

約35年、大きく手を入れることなく頑張ってきた自宅は、転勤で越してきてからのご主人と共に過ごした思い出がいっぱい。数年前にご主人を亡くし一人暮らしになった奥様は自宅の不便さを感じながらもなかなか重い腰が上がりませんでした。

ですが、リフォームを終えたばかりのご友人の勧めもあり、これからの生活と老朽化していく自宅のことを考えリフォームを決断。いくつかプランを見て、なるべく使えるものは使い、今までの住まいの面影を残すプランに決めました。

ご主人と過ごした暮らしの面影を感じながら、これからの一人暮らしを明るく快適に過ごしていくためのリフォームです。

### ◎データ

所在地：田原市田原町

築年数：37年

建て方：在来軸組工法

構造階数：2階

家族構成：60代奥様

延床面積：104.34㎡

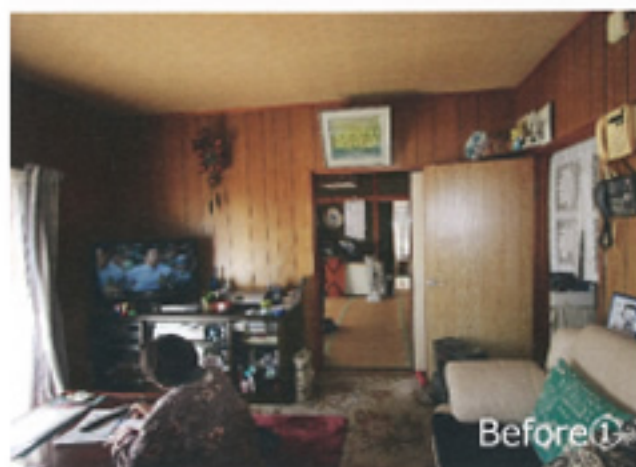
改装面積：50.51㎡

工事期間：2ヶ月

完成年月：平成28年11月



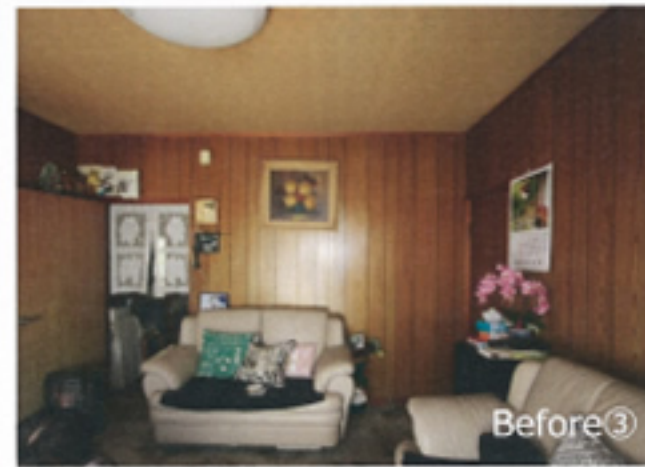
配置図



Before①



Before②



Before③



Before④



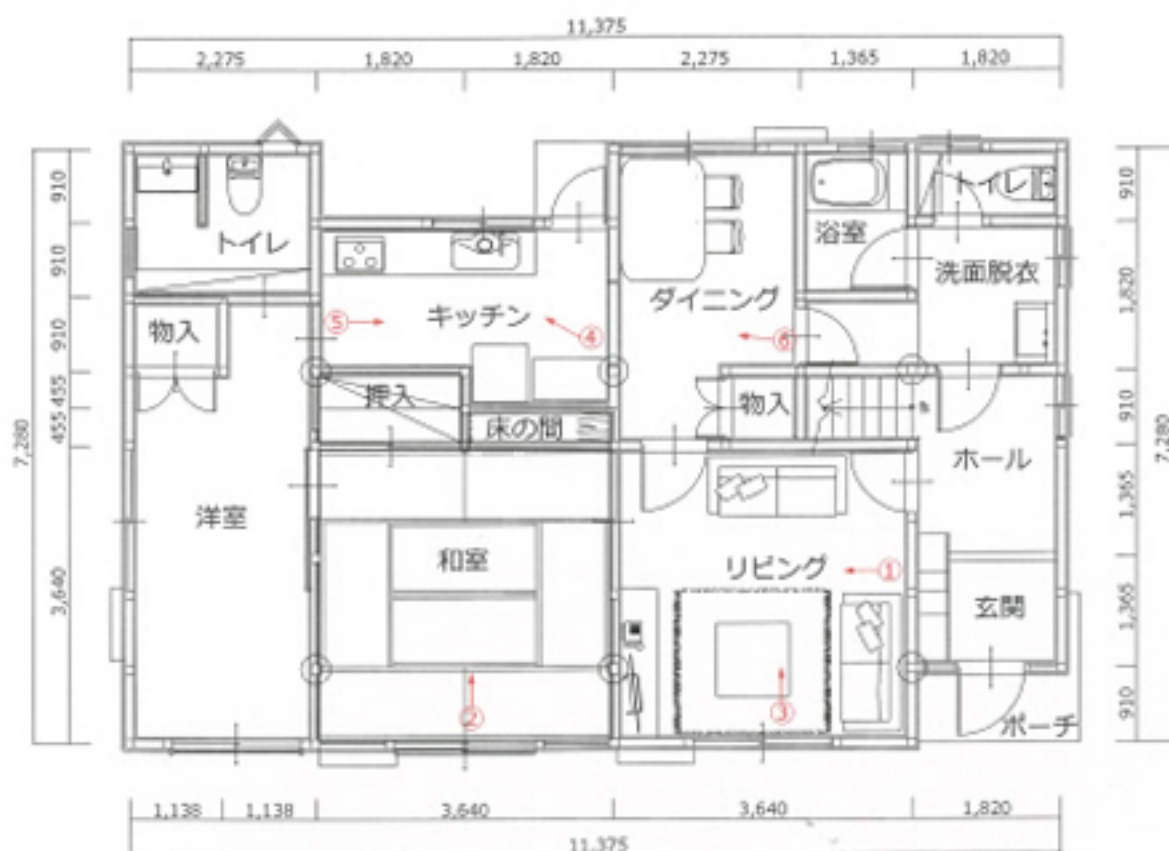
Before⑤



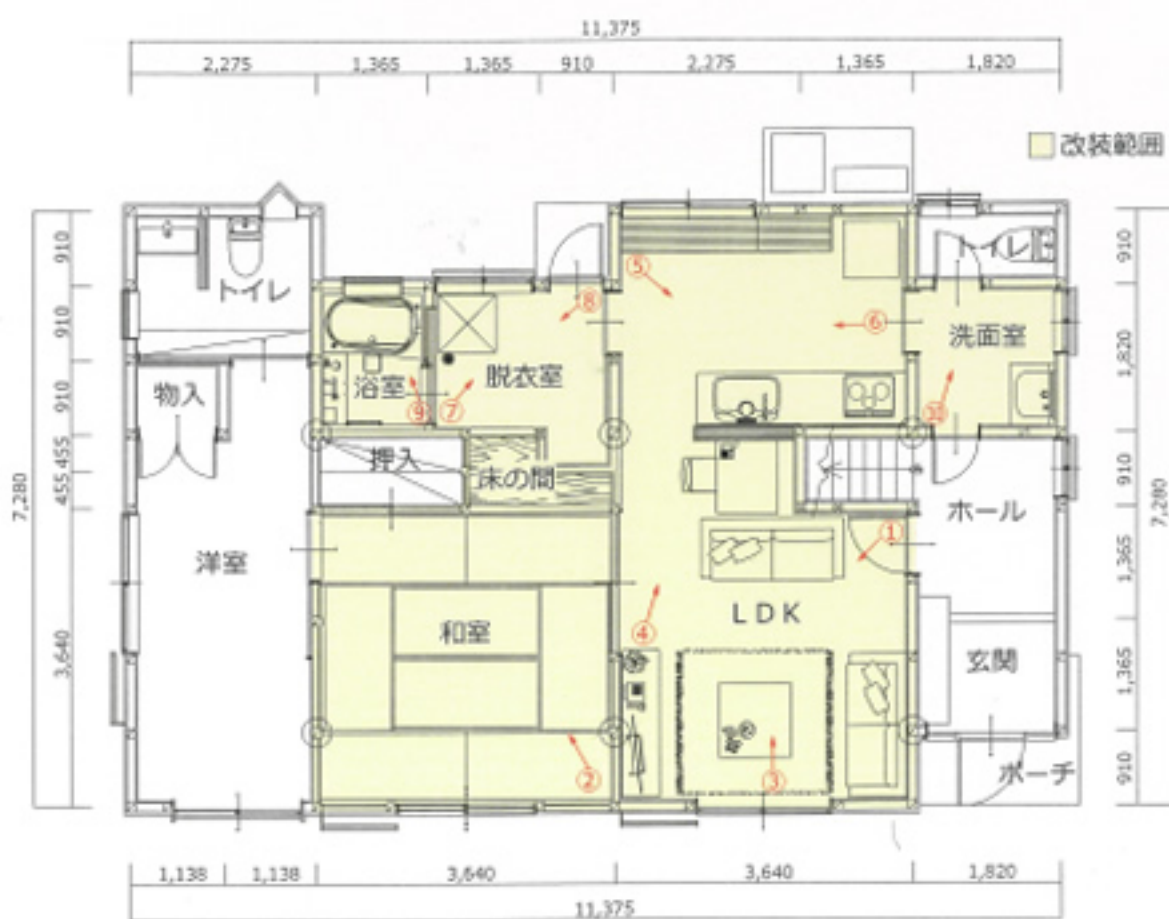
Before⑥

改装前の悩みは全体的な老朽化・暗さ・寒さ・間取りの不便さ・収納不足。最低限のメンテナンスと便器の取替のみで頑張ってきた自宅は設備の劣化と床材の劣化が気になった。また、もともとの壁材と経年劣化による黄ばみで暗く狭い印象。キッチンで調理をし、リビングに運んで食事をする生活には不便な間取りで、あいだのダイニングスペースは物置状態。ご主人のお仏壇は床の間が狭く和室にはみ出していた。親戚も県が離れているため、今後歳を重ねていきながら1人で生活をしていく奥様にとって、自宅に手を加えないといけないタイミングがきていた。





改装前平面図 1/100



改装後平面図 1/100

## ◎ポイント

- ・上手く使えていなかったダイニングをリビングに取り込んでLDKに。間仕切壁の撤去以外は基本仕上げのやり替えのみでコストを抑えて快適な空間に。
- ・居る時間の長いリビングとご主人の仏壇のある和室は大きく変えず、今までの面影を残しつつ同じような生活ができるようにした。
- ・狭くて暗い水廻りはトイレと洗面室だけそのまま、浴室と脱衣室を移動。キッチンからの動線もよく、バリアフリーでスペースに余裕のあるサニタリースペースになった。
- ・洗面室の一部を床の間に取り込み、ご主人の仏壇がしっかり置けるようにした。
- ・田原市「人にやさしい住宅リフォーム補助金」を活用。



床の間を改修し仏壇が収まるようになった和室は、老朽化していた畳を入れ替え、南面の掃出窓に障子の代わりに内窓を設けた。



既設の間仕切りを取っ払って誕生した LDK は奥まで明るく、スペースの広さは変わらないリビングも広く感じられる。大きなダイニングスペースは要らない為、階段部分があってもゆとりのある空間になった。寒くて暗くてごちゃついたキッチンも、明るく収納力も抜群の広々としたキッチンスペースに変わった。キッチンから左右に脱衣室と洗面室に行ける動線も使い勝手が良い。



今まで一体だった洗面スペースと脱衣スペースを分けることによってそれぞれの使い勝手も収納も良くなった。北側で暗かったスペースも仕上げと設備を見直すことで明るく温かい印象に。各室はもちろん段差無しのバリアフリーで、各室に空間の余裕が出来た為、転んでけがをする可能性が低くなった。断熱性能の上ったサニタリーはヒートショック対策にも。お手入れもしやすくなり大満足。